

地域で作る“生きづらい人々の居場所”

トビラ ファーム

市民公益活動促進補助金 実績報告
2023年4月16日

NPO法人南大阪サポートネット

生きづらい人々の居場所 「トビラファーム」の必要性

- “生きづらさを抱える若者”が増えている



- 社会の問題である



- 社会的排除ではなく地域の人々と一緒に
 - 健康で文化的な生活ができる

- 地域で支え合う社会的包摂環境を作る

生きづらい人の居場所 「トビラファーム」

- 対象は “ひきこもりなど、生きづらさを抱える若者”
- 活動内容は
- 農作業と主にTo-Villa（トビラ “生きづらさを抱える若者の居場所”）において当事者と支援者及び地域の人達との交流事業

2022年度実施事業

「食で繋がる」をテーマに
実施した トビラファーム

- ①ファーム（大豆・らっきょう）
- ②味噌づくりワークショップ
- ③梅干しワークショップ
- ④スイーツワークショップ
- ⑤月のまつり
- ⑥ひきこもり・生きづらさを考える集い
- ⑦地域食堂 他

① ファーム事業

実施日と内容

4/16	タケノコ掘り
5/25・6/12	畑の耕運
6/18	大豆の植え付け
6/19～29	水やりと管理
8/7・9/11	草抜き
10/16	らっきょうの植え付け
12/3	大豆の収穫
12/14・23	大豆の選別

延べ参加人数 68人

2023/4/30



② 味噌づくりワークショップ

実施日と内容

2/18 大豆の煮込み

2/19 味噌の仕込み

延べ参加人数 8人



2023/4/16



③ 梅干しづくりワークショップ

実施日と内容

6/26 梅の漬け込み

7/9 赤紫蘇の仕込み

延べ参加人数 14人



2023/4/10



④ スイーツワークショップ

実施日と内容

- 9/10 ロールケーキ
- 8/7 シュークリーム
- 2/4 バレンタインスイーツ



延べ参加人数 20人



⑤ 月のまつり

10月10日 (祝) 公民館

- ・活動掲示
 - ・トビラマルシェ (当事者作品)
 - ・チャリティバザー
 - ・野菜販売
 - ・絵本読み聞かせ
 - ・「カンタ・ティモール」上映会
- ・古本市
- ・模擬店

延べ参加人数 約120人





2022年度大阪狭山市市民公益活動促進補助事業

Canta! Timor

これは、今を生きる私たちへのメッセージ!

映画『カンタ!ティモール』上映会

ひとつの歌から始まった運命の旅

舞台は南海に浮かぶ神々の島、ティモール。

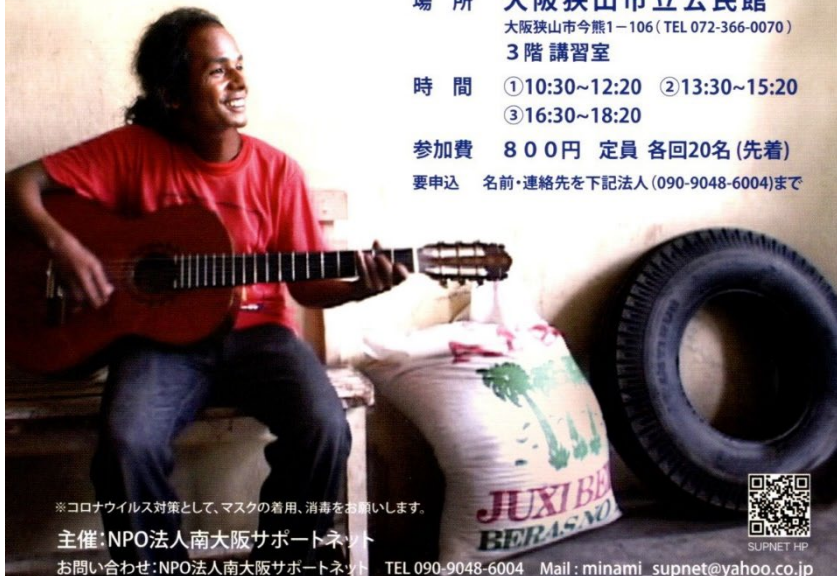
ひとつの歌から始まった運命の旅が、音楽あふれるドキュメンタリー映画となった。

この島を襲った悲劇と、それを生き抜いた奇跡の人びと。

その姿が、世界に希望の光を投げかける。

歌に隠された本当の意味

日時 令和4年10月10日(祝)
場所 大阪狭山市立公民館
大阪狭山市今熊1-106 (TEL 072-366-0070)
3階 講習室
時間 ①10:30~12:20 ②13:30~15:20
③16:30~18:20
参加費 800円 定員 各回20名(先着)
要申込 名前・連絡先を下記法人(090-9048-6004)まで



※コロナウイルス対策として、マスクの着用、消毒をお願いします。

主催：NPO法人南大阪サポートネット

お問い合わせ：NPO法人南大阪サポートネット TEL 090-9048-6004 Mail: minami_supnet@yahoo.co.jp



SUPNET HP





⑥ ひきこもり 生きづらさを考える集い

実施日 3月21日(祝) 公民館大集会室

- ・「こもりびと」上映
- ・活動紹介
- ・各種ワークショップ
- ・音楽の時間
- ・トビラマルシェ (当事者作品)

延べ参加人数 70人

大阪狭山市市民公益活動促進補助金事業

ひきこもり 生きづらさを考える集い

大阪狭山市立公民館 大集会室

3月21日(祝) 13:30~19:30

15時30分~18時30分
ふらっと広場
各ブースにて参加費をお支払いください

☆廣油石創作ワークショップ
①16時~ ②17時~
☆バステルでメッセージカード
☆缶バッジ作り
☆うさぎのサシェ(着り袋)作り など...

17時30分~19時30分
音楽でまったりの時間
和太鼓・パーカッション
ディジュリッド・ギター
ピアノ・ウクレレ・カリンパ等々
音楽を楽しんだり、ゆたなたり聴いたり、やってみたり
ゆるやかな時間を楽しんでください

13時40分~ 上映開始 無料
「こもりびと」
松山ケンイチ主演NHKドラマ
申込は LINE公式アカウントで
当日申込もOKです

会場のコーナー
トビラマルシェ
カフェスペース
軽食・おやつ販売
稲荷すし・バターケーキなど
活動展示
情報紹介

無料 やんわりと・ゆるやかに 場を開いています 時間内は出入り自由です
どの時間にも自由にお立ち寄りください。集いへの参加費は無料です
各Workshopブース、各販売コーナーは実費でお楽しみください(申込不要)



2023/4/16

参加された市民の方の感想

ひきこもりの方たちが元の生活に戻れることを、社会全体で考えていくことがとても大事ななと考えます

今の社会の常識やルールに縛られ生きづらい時代、やはり家族や友人の助けがあれば立ち上がることができるのだと思います。小さいことでも何か行動すると見えることもあると思いました

私が関わったところで・・・影響力もないとは思いますが、長く関わることで、何か良い方向に・・・の人になれたら・・・とか、色々考えるきっかけになって来てよかったです

私たち親世代の価値観が今の生きづらい社会でこれから生きる人たちを苦しめる元にあるとしたら悲しいことです。60歳の私たち世代の責任を多様な生き方を認められる社会にしたいと感じています

物事には様々な見方、考え方、捉え方があり何が正解で不正解、のない多様な思いをくむ必要があると感じました

当事者の方々も色々な役割をされていて、たくさんの方が力を合わせてイベントをされているのがとても良いと思います！いろいろなコーナーがあって、工夫されていて、手作り感いっぱいイベントだと思います。ゆったりとしたアットホームな雰囲気がいイです！これからも、こんなイベントが何回もできるといいですね！

⑦

地域食堂

実施日

5/22

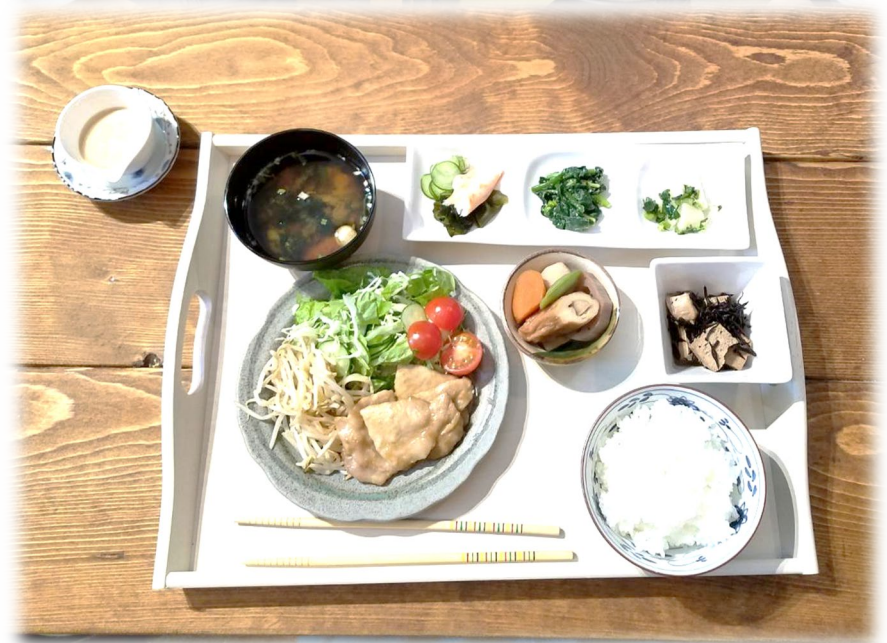
7/24

9/25

12/11

3/5

延べ参加人数 59人



コロナ禍の実施において

- 大勢の人に来てもらうものは広報に難しさが残った
- 「食」を中心において実食する企画はより慎重になった
- 実施方法の工夫が必要であった
 - 少人数で回数を増やすことで出来るだけ対応
 - 対象者の特性 ⇒ 強迫観念の強い方も多い
- 後半は緩和の方向に向かってきたので少し負担は減った
- オンライン会議が定着してきたことは良かった点である

成 果

- ・新たな参加者の中から活動への理解者が出てきた
 - ・ダイレクトに情報提供が可能な人数が増えてきた
 - ・「月のまつり」やイベント、各ワークショップを続けることで協力者が増えてきた
 - ・2022年度は当事者の若者が入れ替わり少人数だが参加、また集う機会の定着がみられた
- ・地域食堂を実施する中で、自宅にひきこもりがちな人たちと地域の人たちが同席、交流する機会が増えている

温かなつながりが増えてきた

ご清聴ありがとうございました

これからもご理解、ご協力、ご支援 よろしく申し上げます

自分が困ったら

「助けてほしい」って伝える

おたがいさま

自分にゆとりがある時は

「できることある？」って聴く

そんな社会が実現するといいですね

2023/4/16

